

平成23年度世羅町立世羅中学校学校経営計画

めざす学校像

- 1 確かな学力をつける教育の推進
- 2 豊かな心をはぐくむ教育の推進
- 3 たくましく、健やかな体を育てる教育の推進
- 4 組織力を高め、地域に信頼される学校づくりの推進

学校力

めざす生徒像

- 1 夢や目標を志にかえられる生徒
- 2 自ら進んでやり抜く生徒
- 3 友を大切にし、自ら規律を生み出す生徒
- 4 よりよい生き方をめざして、創造的に生きる生徒

人間力

めざす教職員像

- 1 指導方法の工夫・改善に努め、授業力を高める教職員
- 2 厳しさと優しさの両面から接し、生徒の人間力を高める教職員
- 3 組織の一員としての自覚を持ち、学校力を高める教職員

教師力

校訓

自主 ・ 友愛 ・ 創造

学校教育目標

夢と志を持ち、豊かな感性と創造力に満ちた、活力ある生徒の育成

学校経営目標

- 1 「知・徳・体」の基礎・基本の徹底と活用力の育成を図り、学力を向上させる。
- 2 「世羅中学校アクションプラン」を教職員が一丸となり取り組むことで、信頼される強い組織を創る。

経営理念

ミッション 郷土に誇りを持ち、郷土を支える生徒の育成
グローバル社会で活躍し、社会貢献できる生徒の育成
ビジョン 地域とともに特色を生かした教育活動を行う学校

経営方針

- 1 「生きる力」をはぐくむ特色ある教育活動、先進的な教育研究を推進し、本県・本町の教育実践のフロントランナーを目指す。（アクションリサーチに基づく全教科の学力分析と授業改善、生徒の自己表現力の育成・向上を図る教育実践）
- 2 道徳教育や積極的な生徒指導を推進するとともに、行事や体験活動及び読書活動の充実を図り、豊かな心を育てる。
- 3 安全・健康教育、体力づくり、食育を推進し、たくましく健やかな体を育てる。
- 4 小・中連携教育の新たな構築と積極的な中高連携の推進を図り、系統的な教育活動を展開する。
- 5 地域や保護者と協働した教育活動を推進するとともに、地域への公開や地域との交流を通して信頼される学校づくりを行う。
- 6 組織力の向上強化を行う。（世羅中学校アクションプランの見直しと継続実施）

世羅中学校アクションプラン

学校評価、人事評価との連動

知

習得と探究

【基礎学力】

- 「基礎・基本」定着状況調査において県平均6P以上の通過率にする。
- 全国学力調査Bにおいて全国平均を5P以上超える。
- 課題提出率を90%以上にする。

【学力向上・ことばの教育】

- ことばの教育の冊子を10月までに発行する。
- 鈴木三重吉賞等の県レベル以上のコンクールに入賞する。
- 英語検定3級以上取得者30%以上、4級以上取得者50%以上にする。（3年生）

【研修・指導力向上】

- 教諭一人あたり年間（2回以上）の授業研究を行う。
- 町外からの公開校内研修会を2回以上、企画する。

事務

最小の資源で最大の効果を

- 消耗品の執行を12月末までに90%を執行する。
- 事務効率向上や服務理解を図るシートを作成・掲示し職員に周知を図る。（年10回以上）

徳

積極的な生徒指導

【生徒指導】

- 校内の不登校率を2.5%以内にする。
- 生徒面接において集団面接を春から実施し、4回以上行う。
- 部活動において、南部大会で3位以内に6つ以上入賞する。
- 危機管理関係の教室・訓練等を3回実施する。

【キャリア教育】

- せらゆめトライアル・ウィークの生徒満足度を96%以上にする。

【道徳教育】

- 道徳の校内研修を年2回以上実施する。

【感動ある行事】

- 体育大会・文化発表会における生徒の満足度を95%以上にする。

【特別支援教育】

- 特別支援教育委員会を5回以上実施する。

組

効率的な学校の意志決定

- 学校評価の自己評価表を修正する等、システムの充実、改善を図る。

体

「3点固定」の徹底

【食育・健康・体力】

- 決められた家庭学習時間の目標達成ができる生徒を80%以上にする。
- 朝食を毎日食べる生徒を95%以上にする。
- 新体力テストにおいて県平均を上回る種目の割合を60%以上にする。
- 栄養教諭と連携した取組みを10回以上行う。

信頼される学校（教育環境・接遇）

連

地域協働

発

【小・中・高連携】

- 小中連携回数（30分以上の訪問等）を30回以上にする。
- 世羅高校連携（会議、30分以上の連携）15回以上行う。

【地域発信】

- HPを月6回以上更新し、年間閲覧回数を15,000回以上にする。

【地域交流】

- 職員や生徒の地域行事への参加を20回以上行う。

アクションリサーチ（RPDC）を踏まえた実効あるマネジメント+人材育成